

「市長と語ろう未来の太宰府・ふれあい懇談会」(会議録)

行政区 水城ヶ丘区

日 時 平成 21 年 1 月 21 日(水) 19:00 ~ 21:02

場 所 水城ヶ丘公民館

出席者 (市 民) 37 人

(執行部) 12 人

井上市長、平島副市長、石橋総務部長、三笠協働のまち推進担当部長、木村建設経済部長、古川上下水道部長併会計管理者、白石議会事務局長

(事務局) 今泉経営企画課長、小嶋広聴広報係長、高原主任主査、大藪協働のまち推進課長、諫山地域コミュニティ推進係長

会議内容 (進行：今泉経営企画課長)

- 1 開会あいさつ (経営企画課長) 19:00 ~
- 2 区長あいさつ (区長) 19:02 ~
- 3 市長あいさつ (市長) 19:03 ~
- 4 市職員自己紹介 (経営企画課長) 19:05 ~
- 5 「協働のまちづくり」について(協働のまち推進担当部長) 19:07 ~
- 6 「懇談」質疑・意見交換 (経営企画課長) 19:21 ~
(別紙)
- 7 閉会あいさつ (副市長) 21:01 ~ 21:02

	質問・意見等	回 答
意見 1	<p>ふれあい懇談会について、HPにアンケート集計しか載っておらず、平成20年1月にスタートして、水城ヶ丘区で18回目であるにもかかわらず、HPに議事録が掲載されていないので要求したところ、整理していないとのことで、4区分しか送付されなかった。この場で我々が意見を提言しても、どこで意見をまとめて実行しようとしているのか不明。44行政区が終了するのが平成22年8月で任期終了間近である。残り半年では、この懇談会で出された意見が反映されない。真剣性が感じられない。</p> <p>また、アンケートも複数回答があった項目について複数回答としているのは、本気でまとめているとは言えない。</p>	<p>(市長)</p> <p>ふれあい懇談会については、補足するものとして、私は、翌日少なくとも2日後にはホームページに「まにまに日記」に速報を載せております。事務的なものは今やっております。側溝の問題とか出されたものは、現場に出かけております。今まで数多くの行政課題が出ており、即対応できるものについては実行しております。聞いて何もしないということとは決してありません。</p>
	<p>協働のまちづくりについて、自治会制度はそのまま移行して名前が変わるだけとの説明である。市から降りてくる書式や補助金の算出は変わらないのか。変わらないとすれば、自治会に変更する必要がないのではないか。地区協議会の位置づけは何か。新たに役員を作るのか。現在でも役員選びが大変であるのに、新たな小学校区の協議会の役員選びが困難である。公務員は全体の奉仕者であることを念頭に色々なことをして欲しい。</p>	<p>(市長)</p> <p>幼児から高齢者まで安全安心のまちづくりは、今までは「行政が全てやる」ということでしたが、今からは一緒になってまちづくりを行うということです。自分が小さい頃は地域に育てられたという思い、経験があります。</p> <p>認知症の問題にしても、1つの世帯だけでなく地域で解決できなければ、全ての方が安心して生活を全うすることは出来ないと考えます。システムも平成21年度からこうします。出来ることから始め、一緒になってこの町を考えていくということが基本です。校区協議会、連合会などの組織を作り、まちづくりをしやすいようサークル活動などを支</p>

		<p>援していくための試みとして平成 21 年から組織づくりの準備期間として、平成 22 年の 4 月に正式にスタートしていこうという段取りで進んでいます。概ね小学校区を単位としてまちづくりを行っていきたいと思っています。</p> <p>皆さんと一緒に構築していきたいと考えています。</p>
	<p>災害に強いまちづくりについて、自主防災組織は、長年作ると言っているが、44 行政区の中で現在何区できているのか。以前の議会では 11 区とのことであったが、残り 33 区は？組織をどうやって作るのか。平成 13 年国で土砂災害防止法が制定されている。平成 15 年に災害があったときから何年経過しているか。土砂警戒指定地域（イエローゾーン）と特別警戒地区（レッドゾーン）について、市内でレッドゾーンにかかっている世帯は 332 世帯であるが、地区指定については、国から委託されて県が調査し、市の意見を聞くようになってきている。太宰府市では 12 月までに説明会が終わったとのこと。説明会に来たのが約 1/3 程度で意見書を取った 140 件のうち、同意 22 件、保留 28 件、再調査希望 36 件、反対 64 件と聞いた。12 月 11 日水城台、水城ヶ丘の説明会があり、対象世帯に案内文書を出したとのことであったが、自分はその説明会の案内文書を持っていない。原因不明。どのような説明があったかわからないのに</p>	<p>（市長）</p> <p>本市では、平成 15 年の 7 月 19 日に豪雨災害があり、大きな被害がありました。このことを教訓として色々な取り組みをしました。</p> <p>国、県を合わせますと、災害復旧に 100 数十億規模の費用を投下し、治山・砂防ダム、河川改修など行いました。平成 15 年から 3 年かけて 30 億の市単独事業を行い、40 億ほど借金もしました。</p> <p>市として行わなければならないものは鋭意努力して来ています。御笠川の改修も終わりました。また、災害は緊急事態を如何に知らせるかが大事です。</p> <p>国分地区は年次計画で雨水幹線の整備計画を練っております。80%の補助事業で約 1 億かけてコミュニティ無線も設置しました。</p> <p>県下に先駆け太宰府市が行った事業です。有事の際は如何に避難をして頂くかが大事だと思います。</p> <p>土砂災害警戒区域については、県が再度説明会を行うということであれば、正式には聞いておりませんが、それを待ちたいと考えております。</p>

	<p>意見書を書けといわれても書けない。白紙に戻すよう、那珂土木事務所、県の砂防課、国交省に連絡したところ、県の砂防課は「やり直す、市に連絡する」とのことであつたが、何時再開するかとか未だに連絡が来ない。どうなっているのか。大野城市はハザードマップをホームページに載せている。警固断層による地震が発生したときの大野城市で被害が及ぶ範囲も載せている。ハザードマップぐらい作って欲しい。</p>	
意見 2	<p>資料 7 ページ。地域力を高めるために、自治会を校区毎に集めて力を付けるとのこと。確かに防災とかは校区単位でもよいと思う。危惧するのは、例えば今までは水城ヶ丘の道路が損壊したら区から市へ直接連絡し、対応策を協議してきた。この表を見ると、コミュニティ制度導入で区と市の間に 2 つ段階が出来て、緊急時に「連合会を通してくれ」など言われて、直接受け付けられなかったら、市民として困る。むしろ地域力が弱まるのではないか。</p> <p>校区単位でした方がいいものもあるので、1 年間検証するのであれば、その辺を十分検証してほしい。</p>	<p>(市長)</p> <p>この表からはそのような誤解を受けると思います。今までと中身は変わりません。</p> <p>問題があれば直接担当に言っていただくことはそのとおりでいきたいと考えています。</p> <p>ゆくゆくはこのような形を描いておりますが、市民の皆さんが遠くなる形で考えた訳ではありませんので、その辺は補完していきたいと思います。</p>
意見 3	<p>先ほどの画面説明の中で自主財源を確保するようにあつたが、市長の説明では補助金で支援との説明もあつた。コミュニティをやっ</p>	<p>(市長)</p> <p>従来の自治会活動の中で、44 区それぞれ区費を徴収されています。</p> <p>それは、自治会活動であるので今まで同様</p>

	<p>ていく中で、自主財源でやっているかと言っているのか、市の方からの補助も十分行なうと言っているのかどちらなのか。</p>	<p>でいいと思います。それプラスの子育て支援や介護のサロン、防災防犯のため色々な活動があります。それらを支援するための道を開きます。</p> <p>古紙回収の市からの補助など、水城ヶ丘の自治会に収入として一旦入れていただいて、子育て支援の色々なサークルに支出していくとかそういった形をとっていただきたいということです。</p> <p>今の行政区の区費とは切り離して支援をする、市民活動助成をするといった考えです。</p>
<p>意見 4</p>	<p>市長、各部長の給与はどのくらいか。市の財政は経費が高い。市単独事業が行なえない。であるのに、何故そんなに高いのか。また、市議会議員の報酬も高額である。どのように考えているのか。</p>	<p>(市長)</p> <p>現在人件費は、31 億ほどです。財政状況はいいとは言えません。19 年度で経常収支比率は、98%達成で公約に掲げておりました。</p> <p>【画面説明】</p> <p>平成 17 年度市債残高 24,731 百万円 平成 18 年度市債残高 23,816 百万円 915 百万円 平成 19 年度市債残高 21,960 百万円 1,856 百万円 平成 20 年度末市債残高 20,873 百万円 1,087 百万円</p> <p>一定程度大型公共事業投資が終わって、起債残高が 40 億ほど軽くなってきています。職員の人件費も、国と比較してラスパイレスは 100 を切っております。ほぼ国と一緒に水準です。</p> <p>なお、報酬については、三役は 1 割カットの姿勢で望んでいます。</p> <p>私は、職員については、人事院勧告に基づいて行なっており、一律カットは行ないません。職員が一人二役することにより生産性を高めて、職員採用を控えております。</p>

		<p>雇用の創出からも今年採用試験を実施しましたが、職員は最小限で食い止めております。</p> <p>現場主義を徹底し、市民に必要な予算は確保しながら外部委託などにより子育て支援などに予算を再配分するなど運営していきます。</p>
意見 5	<p>市長は、現状の水城ヶ丘地区をどのように考えているのか。</p>	<p>(市長)</p> <p>現在、ソフト面では、歴史・緑・修景景観などが大事でどこよりも残っています。</p> <p>今後も緑を活かしたまちづくりを行っていきたいと考えます。</p> <p>特に水城堤防の東門周辺は、まちぐるみ歴史公園構想として整備を行っています。</p> <p>市民がまほろば号や自転車で散策し健康になっていただくためのしかけをしていきたいと思います。</p> <p>剪定チップの散布や標識の設置などをしていきたいと考えています。</p>
	<p>10月に、道路の中央線が消えていると建設課に連絡したところ、年内に着工するとのことであったが、未だになされていない。事故が起こってからでは遅い。今後どういう対応をするのか。</p>	<p>(市長)</p> <p>隅切りの件は承知していましたが、中央線の件はひょっとしたら聞いていたかもしれませんが、早速確認して対応について報告します。</p>
	<p>市債の 250 億を減らすとの市長公約であったが、その成り行きは。</p>	<p>(市長)</p> <p>市債残高 200 億のうち、45 億は史跡地買い上げによるもので、95%は後で国の方から入ってきます。</p> <p>平成 18 年で大型の公共事業が終わり、償還金が 31 億から 2 億ほど減った分を妊産婦の検診費用に振り分けるなど予算検討をいたしております。</p> <p>また、南保育所を外部委託することで、新たな要望に振り分けるようにしています。最大のやりくりは、高い利率の市債を借り替え</p>

		たり、繰り上げ償還することで少なくしています。
	<p>歴史と文化の環境税の現状は。</p> <p>利用者に聞くと領収書を発行せずに止めさせている駐車場業者が多いと聞いている。現状はどうなっているのか。</p>	<p>(市長)</p> <p>今6年目を迎えています。当初はマスコミに面白おかしく取り上げられましたが、悪い意味でも全国に知れ渡りました。現在、状況が変化し、観光客も600万から730万人に増え、賑わいのある町に変わってきました。環境税については、今年の5月に諮問を致しました。</p> <p>答申は継続でございます。年間6800万円入ってきておりますが、それを活かしたまちづくりを行っています。環境税を使って、来訪者、市民のためのトイレを整備したりなどを来年度も行います。</p>
意見6	<p>安全安心のまちづくりについて、救急車の稼働状況は。国会でも論議されているたらい回しはないのか。自分がたらい回しされないかという心配がある。消防署からたらい回しに関する情報があれば知らせしてほしい。救急病院との連携強化のための連絡会がなされているか。</p>	<p>(市長)</p> <p>本件につきましては、消防署の副管理者を勤めており、報告がありますが、たらい回しはありません。</p> <p>救急車の出動回数は増えております。救急病院との連絡対応については、筑紫医師会との交流を密にし、情報交換しております。</p>
	<p>市民パトロールについて、登録者は多いが、情報交換の場がない。年1～2回連絡会などを開催してはどうか。</p>	<p>(市長)</p> <p>例えば、この地域コミュニティづくりもそのひとつで、それぞれについては、一斉の街頭活動が行われておりますが、ネットワーク化したいとの思いから、昨年、安全安心まちづくり交流会を立ち上げております。</p> <p>各防犯部会やサークル活動など全体を網羅する会議を発足させております。第1回目の総会を行いました。それらを活用して今後について行っていきたいと思います。</p>

<p>意見 7</p>	<p>資料 10 ページ。予算総額が減少傾向にある。国の財政補助等の先細りにより、市の財政状況が逼迫し、縮小均衡型の市政運営にならざるを得ない。それでは夢のある市政運営は望めず、身の丈にあったもの、分相応といった世界に閉じこもる。今後慢性向上的に収入を図る道はないのか。市長は、財政収入を図る道はないと言い切った。太宰府天満宮は、迷惑を被るだけで、市民にとってメリットを感じない。もう少し太宰府市民が潤う安定した新たな税収のうち、恒常的財源の確保することはできないのか。</p> <p>税収確保のプロジェクトがあると聞いたが進捗状況は。</p> <p>私は、試案を持っているので何れ提言したい。</p>	<p>(市長)</p> <p>地方財政は、どこも逼迫しております。法人の有るところ、無いところがございます。太宰府市はホテルの誘致を行い、グランディア太宰府も繁盛しております。直接入る産業は、あるとすれば観光で、いくつかの話は今もございます。本市の場合は、人の出入りはありますが、コンセプトが「歴史と緑豊かの文化のまち」ですので、逆行するようなものもあります。中でも評価しておりますのは、歴史と文化の環境税です。地方分権の中で職員が「法定外普通税」という形で、総力を挙げて考えたものです。自動販売機の広告宣伝、広報紙の広告収入など、ミクロではございますが、そういった考えは職員の中に根付いております。何十億も入るような大きなものがありましたら、皆さんから教えてもらいたいと思います。そのようなものがあれば私はいつでも研究いたします。</p>
<p>意見 8</p>	<p>地域コミュニティについて、多くの方が反対と聞いた。地域力を上げるためには、まず、市民に意見を聞くべきで一方的すぎる。区長は市長に委嘱される喜びがあったが、校区単位となればそれがなくなる。校区は、教育委員会の管轄である。現在の区を中心としてコミュニティを活かすべきである。</p>	<p>(市長)</p> <p>その通りに考えておまして、基礎的なものは水城ヶ丘区 = 自治会というのは今までどおりでございます。自治会中心のまちづくりを行っていただき、それに加えて、「まちづくりについての議論を起こしてもらおう」と言った進化をしていきたいと表おります。第 4 次の総合計画の前の百人委員会で集まった市民の皆さんの意見に基づいて、小学校区単位のまちづくりの提言に基づいて総合計画を充実し実行するのが私ども為政者であり、市民の皆さんと一緒に具現化</p>

		をしていこうと今、問題提起をし、2年かけて修正し、よりよい方向に進めて行きたいと思います。今大体的、トータルの方向性を示している状況です。
	<p>国立博物館が建設されたと言って、また観光客が700万人を突破したと言っても、歴史と文化の環境税もわずか6200万である。太宰府天満宮などに市長が飛び込んで、日本にない独特のお金の引き方をまず太宰府市民に選ばれた市長がやってほしい。700万～1000万に単純に1000円をかければいくらお金がくるか常識的に分かる。歴文税は微々たるもので、市長自ら天満宮にかけあうべき。</p>	<p>(市長)</p> <p>環境税は、微々たるものかもしれませんが、太宰府市のあらゆる収入増から見れば、決して少なくない金額です。</p> <p>天満宮とは宮座など色々な形で交流しています。公人の市長としても、可能な限り出向きながら話をし、挑戦していきたいと思えます。</p>
	<p>新型インフルエンザに対する市の対策は。</p>	<p>(市長)</p> <p>市としても、昨年の補正で、出来る限りの財政措置し、確保しておるところです。</p>
意見 10	<p>他の人(一般市民)から私たちが行政に対するお願い事が多すぎるので行政コストが嵩むと言われた。例えば、地域コミュニティとして区で福祉を行うにしても、住民の名簿は情報開示できないなどの制約がある。区に対する行政からの権限委譲を考えているのか。</p> <p>また、高齢者についてまほろば号を無料にするなど何か市民に対するメリットがあれば、行政に依存することなく自分達で行う。</p>	<p>(市長)</p> <p>今回のコミュニティづくりについて、今まで縦割りで行っておりましたが、今後は対等の立場でパートナーとしてまちづくりを行います。問題点については、今までどおり吸い上げます。</p> <p>現在、名簿など法令順守の問題があります。以前は住民台帳の整備など数多くの任務も行っていただきましたが、現在は地域の課題を纏めていただき、緊急の場合を除き一緒になって対等の立場でまちづくりを行っていただくことが大事と考えます。</p>
意見 11	<p>少年スポーツ公園の鍵の管理について、何年も一人の高齢者が管理している。4年前にも提言した</p>	<p>(市長)</p> <p>この件は、紆余曲折がっております。施錠すること自体いいのか悪いのか、また青少</p>

	<p>が、一人が朝6時に空けて夜9時に閉めるのでは時間が守られていないという不満がでている。地元区長に意見を聞いてどういう鍵の管理をするのが適切かを検討してほしい。</p>	<p>年の非行の問題もあっております。この管理については、教育委員会の担当に伝えます。</p> <p>今からの状況はどういった状況が望ましいのか、地元の声を大事にしていきたいと思えます。</p>
意見 12	<p>個人情報について、区の高齢者の一人暮らしの問題や学校のことなど、開示されないと区でやることはない。市はどう考えるのか。</p>	<p>(市長)</p> <p>個人情報、高齢者1人世帯の把握の問題などが問題になります。開示については、本人の同意が必要であり、自分の情報を開示されることにクレームをいう時代になってきており、予め包括的な同意を取っておくなど一つの方法であります。</p> <p>地域コミュニティの人間関係に基づくところもあります。また一方では緊急連絡など、実際の危機管理の問題もありますが、実際は同意に基づいてまとめてあるのだと思えます。</p>
意見 13	<p>平成15年の災害に遭った。昨年の11月ぐらいに説明会があったが欠席した。もし水害があったら、後に家が建てられないと聞いたが事実か。</p>	<p>(市長)</p> <p>これは、県が市の意見を聞いて、指定するかどうか判断をします。</p> <p>現段階でそこが土砂災害指定区域になっている訳ではありませんので、個人の土地の使用法に弊害が出ることは現時点ではありません。</p>
意見 14	<p>まほろば号について、都府楼前駅での乗り換えにひどいときは20分かかることがある。大佐野とか遠い方については、直接、市役所やいきいき情報センターに行くバスが一日何本かでも欲しい。高齢者に対する配慮が足りない。</p>	<p>(市長)</p> <p>この問題は、改正した当初から同じような声が聞かれました。以前は路線が長かったために、交通渋滞に巻き込まれ、1日ダイヤが回復しないことがあり、小回りで運行することを職員のチャレンジで行ってみたいことにしました。</p> <p>一日のうちの1~2本は直通(下車せずに乗ったままでよいもの)があります。</p> <p>今後は、その本数を増やしていきたいと思えます。また、携帯電話でバスの位置情報を</p>

		<p>取得できるようになりました。</p> <p>また、現在のバスの位置を把握できるシステムをバス停に設置するよう独自で開発しています。よりよい方向を目指していきます。</p> <p>もう少し今のままご辛抱いただきたいと思います。</p>
意見 15	<p>信号機設置についてのお願いです。市役所だけの話でなく、警察も絡むと思いますが、ファミリーマートの所について、10年来の懸案事項で、信号機の設置を要望しているが、市からも応援してほしい。ファミリーマートが出来たためにより複雑になっている。事故が起こる前に現場を見てほしい。</p>	<p>はい、わかりました。</p>
意見 16	<p>水道は、4市1町で太宰府市が一番高い。それに伴い下水も高い。現状は確保できているのか。今後の水道関係に対応できる計画は。</p>	<p>(市長)</p> <p>結論から申し上げますと、一日当たり12000から13000立方メートルの利用で、色んなところから水を調達し、人口90000人23000立方メートルまで確保できております。</p> <p>水道料金が高いのは、県下で15位ぐらいですが、1円でも2円でも安くなるように還元していきたいと思います。また、太宰府市は湧水にはなりません。</p>
意見 17	<p>県が土砂災害防止法の件説明会をやり直すと言っていることについて、私は、意見書出した。</p> <p>問題はイエローゾーンの人で、イエローゾーンの人知らない。なんで私が言うかといえば、不動産会社の重要事項説明書に記入しなければならぬ。何も無い状態で2000万の物件が、危険ということで資産価値が減るといふ人もいるし、危険だと県が指定するぐら</p>	<p>(協働のまち推進課長)</p> <p>追加的な説明会を行うことです。</p> <p>意見書を頂いている方がおられます。</p> <p>意見書を頂いていない方も沢山おられるので、そういった方を含めて説明会を考えております。</p>

いのところならば、逆に指定する前に、ハード的なものを整備しろという人もいる。レッドゾーンもイエローゾーンも重要事項説明書は書かないといけない。一度白紙に戻してやり方を考え直せ。私は指定に反対しない。危険と指定するなら、優先順位をつけて危険箇所を直してほしい。そのために危険箇所に指定してほしい。資産価値より自分の命が大事。市もやり方を考えてほしい。市長が知らないのはおかしい。意見書を出すのは市である。5年前の災害で砂防ダム？が出来たがそれは崩れたからたまたまただけで、それ以外の箇所は5年間放置していたのかということになる。家の裏は、台風でも危険であるし、少なくとも県が言ってきている箇所と自分達が調べた箇所について、市の職員は、足で稼いで調べたのか。

(個別の案件は、後日、直接市に相談し、一旦閉会をするようにとの声あり)